

# 三重県議会議員 小林正人 県政レポート



facebook  
皆様からの「いいね!」を  
お待ちしております  
<https://www.facebook.com/masato.kobayashi.9421>



三重県議会議員 小林 正人

## 新しい年を迎えて

新春の候 皆様にかかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
 昨年は改選もあり、県議会においての新役職就任、それに伴い県内のいろいろな課題、問題に皆様からのご意見、ご指導賜りながら取り組ませていただきました。とりわけ防災対策、交通インフラ整備や福祉・障がい者雇用、保育の問題等においては、一定の成果もだせたのではと思います。一方で、全国的な問題として、人口減少対策や出生率減、あるいは社会保障財源の確保や医療体制の充実等、まだまだ道半ばのものも多々あります。本年も地域の実状や国策の動向を踏まえ早急に解決しなければいけない問題、又皆様からの県に対するご要望を中心に誠心誠意職務に取り組む所存であります。  
 さて県政レポート26では昨年の予算決算総括質疑の内容や、本年の県の取り組みに対する私の考え方等を中心にご報告させていただきます。今後ともこれまで同様、皆様からご意見、ご指導等このレポートを通じていただければ幸いに存じます。

## H27年10月29日 自民党会派を代表して26年度決算についての総括質疑を行いました。

### ①平成26年度決算概要

歳入総額は8691億円、歳出総額は8532億円でありました。25年度と比較しますと、一般会計では歳入が1.7%減、歳出は0.9%の減で、特別会計におきましては収入済額が14.3%の減であり、歳出は14.7%の減となります。全体予算としては25年度より減少はしているものの、形式収支いわゆる歳入と歳出の差額では総額で159億円の黒字となっております。このようなことから知事は26年度編成の在り方、どのように感じられたか?又この結果を踏まえて27年度は執行中ですが28年度予算編成にどのように反映させるのか?



### ②収入未済額と不納欠損額について

26年度収入未済額は75億円、不納欠損額は5.2億円であります。  
 内訳として先には県税で45億円、諸収入で30億円であります。後者は県税が4.7億円であり諸収入で5千万円、共に前年度よりは減少しておりますが、額が大きいのが気になります。税金を納めるのが県民の義務であると同時に徴収においては行政の責務であると考えます。中でも一番額が大きいのが個人県民税約37億6千万円、県民の税負担の公平性という観点からも今後の徴収対策、どのように対策を講じていかれるのか?又不納欠損額ですが債権等の時効が来るまでにどのような対応をされておられるのか?

### ③予算の不用と流用について

26年度不用額は約73億円でありました、災害復旧費や土木費等自然災害等に影響を受けやすい、あるいは年度をまたいで予算執行しているものについては理解できるが、他のものにおいては明らかに額が大きいのでは?  
 年度途中で減額補正等もおこなっているにも関わらず何故これだけの不用額がでるのか、年度当初予算編成時において、各事業の積算の仕方が不十分であると考えますがどうか?  
 流用額においては26年度約24億円でありましたが、その範囲、基準は?



### ④基金について

26年度、県の40ある基金の残高は約613億円でありました。  
 これらの資金を運用して得られた運用益は1億6500万円であり平均運用利回りは0.218%となっております。  
 基金の運用においては安全性、流動性、効率性にかみし、基本的には預金又は国債、地方債、政府保証債等の元本の償還及び利息の支払いが確実な債権により運用しなければならないこととなっております。出納局が昨年度から新たに効率的な運用について検討していただいているようですがどのような取り組みなのか?又安全性は?運用益はどの程度のものか?

### ⑤県内10建設事務所の予算配分について

26年度鈴鹿建設事務所の事業費は31億4千万円であり、比率でいいますと全体の6.7%でした。順位でいいますと7番目、25年度は約32億円で8番目、又27年度当初では約28億円で8番目でありました。(下記表参照)  
 ちなみに過去3年続けて減額なのは鈴鹿建設だけあります。事業費配分は道路総延長や様々な計画によって左右されることは承知しておりますが、それにしても鈴鹿地区の製造品出荷額や観光集客率、農業生産高や人口等、他の地域と比較しても上位であるにも関わらずこの配分額は少なすぎると思うがいかがなものか?

### ⑥低年齢児保育補助について

基本的には現行制度から24年以前の制度に戻すべきだと考えるがいかなものか?  
 低年齢児対策と待機児童対策は別で考えるべきである、現行制度でいくにしても、例えば  
 A.前年度10月1日現在の待機児童が50人未満の市町においては1市町あたり95万4000円×低年齢児保育実施保育所数  
 B.前年度10月1日現在の待機児童が50人以上の市町においては1市町あたり142万5600円×低年齢児保育実施保育所数  
 という基準は更に努力をして待機児童を減らそうと取り組んでいる園が多いほど補助額が減ることから、平等ではない、一律にするべきと考えるがいかなものか?

### 県内各建設事務所事業費の推移(道路・河川・港湾・堤防・整備等)

事務所名	平成25年度(比率)	平成26年度(比率)	平成27年度(比率)
桑名建設	3,080,216 (7.0%)	3,221,453 (6.8%)	3,649,351 (7.6%)
四日市建設	5,065,175 (11.5%)	5,348,680 (11.3%)	5,747,936 (11.9%)
<b>鈴鹿建設</b>	<b>3,209,150 (7.3%)</b>	<b>3,136,598 (6.7%)</b>	<b>2,772,871 (5.7%)</b>
津建設	4,272,062 (9.7%)	4,145,945 (8.8%)	3,071,937 (6.4%)
松阪建設	4,010,084 (9.1%)	4,280,130 (9.1%)	4,958,882 (10.3%)
伊勢建設	4,392,802 (10.0%)	4,460,552 (9.5%)	5,220,663 (10.8%)
志摩建設	3,582,170 (8.2%)	3,029,709 (6.4%)	2,535,015 (5.3%)
伊賀建設	3,634,589 (8.3%)	3,589,805 (7.6%)	4,305,732 (8.9%)
尾鷲建設	1,621,153 (3.7%)	1,713,538 (3.6%)	1,766,368 (3.7%)
熊野建設	3,395,234 (7.7%)	3,047,255 (6.5%)	2,819,316 (5.8%)
北勢流域下水道	821,312 (1.9%)	1,777,560 (3.8%)	1,871,432 (3.9%)
中勢流域下水道	1,419,289 (3.2%)	2,512,980 (5.3%)	3,813,409 (7.9%)
本庁(梓つげ保留含む)	5,366,699 (12.2%)	6,884,454 (14.6%)	5,705,289 (11.8%)
年度計	43,869,935	47,148,659	48,238,201



予算・決算常任委員会理事として石川県議会に視察・調査



予算・決算常任委員会理事として京都府議会に視察・調査





# H28年度 引き続き積極的に下記の問題に取り組んで参ります

## 1.ふるさとに人口と活力を取り戻す為の対策

- ・東京一極集中から脱却し、政府関係機関の地方分散を促進。首都機能移転を本格的に検討。
- ・リニア中央新幹線（東京～大阪間）の早期完成を目指し、中間駅に各種都市機能（文化・芸術・スポーツ等）移転。
- ・出生率を上げるための対策として、若者の早期結婚支援（20代で第一子を産んだ女性に特別手当等創設）同居、近居三世帯家庭支援や子供・子育て三人目応援事業への取り組み充実。
- ・女性の本当の希望、選択が叶う柔軟な働き方、育て方への支援。
- ・社会減対策のひとつとして、地方における大学に至るまでの一貫した教育環境の充実と県内大学、専門学校、高専収容力の拡大。
- ・ふるさと納税の拡充、空き家バンクの拡充、二地域居住の促進。



加藤一徳総活躍担当大臣とともに

## 2.農林水産業への支援と中小企業の育成

- ・農地中間管理機構による農地の集約と米価下落対策、担い手や後継者支援等。
- ・魚価向上対策や栽培漁業および漁場環境保全対策の推進。
- ・荒廃化茶園対策、鳥獣害対策や燃油高騰対策の加速。
- ・県内への企業誘致を促進するため人材育成や設備投資支援等の事業環境の整備をはじめ、更なる税制優遇策の積極的な県独自のファーストワン・オンリーワン支援。



東京日本橋三重テラス視察



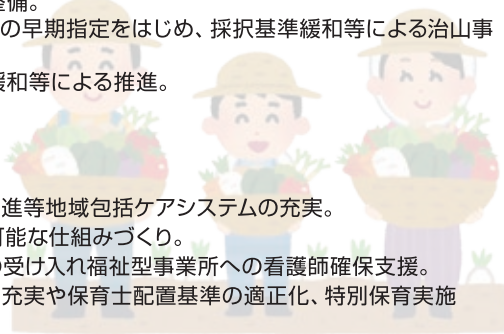
店内地場産品

## 3.観光物産の振興

- ・ポストサミットの取り組みや国際交流の促進。
- ・首都圏、関西圏営業拠点本部の更なる戦略的利活用等。

## 4.安全・安心の未来実現

- ・防災減災対策をはじめとする公共投資の拡大（着実な道路整備の推進や堤防等の抜本的な改修）、又河川堆積土砂の撤去等の維持管理の拡充。
- ・交通安全対策に係る機器や表示等整備。
- ・地籍調査の推進、土砂災害警戒区域の早期指定をはじめ、採択基準緩和等による治山事業、急傾斜地対策の推進。
- ・木造住宅耐震支援制度の適用条件緩和等による推進。



## 5.福祉医療の充実

- ・医療・介護関係者の多職種連携の推進等地域包括ケアシステムの充実。
- ・社会的事業所への支援と事業継続可能な仕組みづくり。
- ・医的ケアが必要な重度障がい児者の受け入れ福祉型事業所への看護師確保支援。
- ・保育所における低年齢児保育補助の充実や保育士配置基準の適正化、特別保育実施に対する補助制度の更なる拡充等。

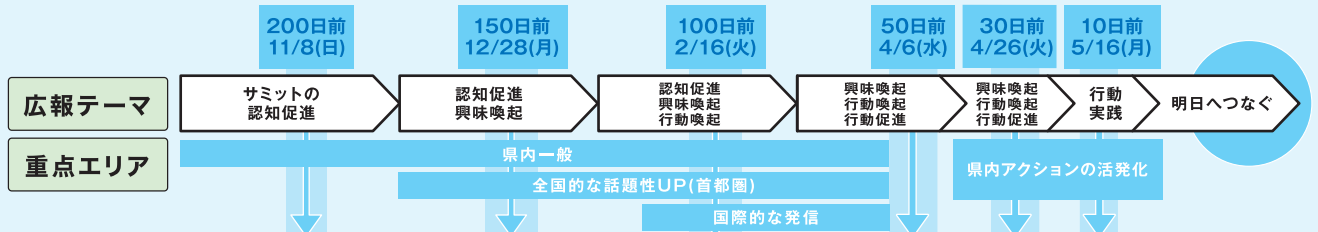
## 6.学力・体力の向上と道德教育の推進

- ・全国学力学習状況調査結果の積極的な活用と情報共有ならびに、基礎学力の向上取り組み強化。
- ・道德教育推進教師を中心とする体制づくりや年間指導計画の遵守等による道德教育の推進と体力向上の取り組みを強化し、青少年の健全育成を拡充。
- ・キャリア教育の推進、県立高校の専攻科の拡充。
- ・学力の向上、不登校、いじめ等への課題に対応するため学校人材のベストミックスについての議論。加配定数の類型、SC、SSW等。

## 7.その他

- ・災害復旧などの公共事業に係る地元企業の育成をはじめ、品質確保の観点からの入札制度の更なる改善。
- ・車窓景観から豊かさを感じられる美しい街路樹景観づくりへの取り組み。
- ・動物愛護の観点からその啓発活動や愛護センターの適切な運営、譲渡条件の緩和や避妊去勢等にかかる補助の充実、殺処分0を目指す等。

## 伊勢志摩サミット 開催に向けた広報全体計画



広報アクション	平成27年					平成28年						
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	5/26 5/27	6月～
開催支援			開催★					随時				
先遣隊歓迎行事等												
インフォメーションセンターボランティアの募集・研修				ボランティア募集			ボランティア研修		結団式★	インフォメーション設置		★解散式
サミットフォーラム		★9/5第1回(志摩)				★1/16第2回(鈴鹿)		第3回				
おもてなし							研修					
クリーンアップ活動							キックオフ			集中活動期間 県内一斉清掃		
花いっぱい運動									キックオフ			
カウントダウンボード			県内一斉設置		県内外設置		設置					
明日へつなぐ				県、市町との連携事業								
ジュニアサミット										受入・交流事業		
県内学校・民間団体等における国際理解・交流												
県内外イベントでのPR				★11/8イオンモール東員イベント		★12/27-28三重テラスイベント		★国際フォーラムの開催				
ホームページ・SNS							リニューアル・多言語化					
情報誌・ハンドブック			第1号		第2号					ハンドブック		
ポスター			第2弾		第3弾				第4弾			第5弾
みえだより				vol.5				vol.6				
県政だより			(3p)✓	(1/2p)✓	(1/2p)✓	(1/2p)✓	(1/2p)✓	(1/2p)✓	(1/2p)✓			
シンボルマーク		県民投票		決定発表								
海外プレスツアー等	★外務省主催第1回		日本記者クラブ知事会見			★県民会議主催(第1回)						
海外ミッションでのPR		★ニューヨーク経済セミナー				★日本外国特派員協会知事会見						
三重県情報館(仮称)												
協賛・応援・寄附												
各種応援事業等との連携		10/15,16★伊勢神宮神嘗奉祝祭		★ ★ ★ 11/8イオンでの200日前イベント 11/14,15子育て応援わくわくフェスタ 11/20,21リーディング産業展		★ ★ ★ 12/27年末いながしま港市 12/20「宮城県×広島県×三重県」社職競演イベント		★2/21美し国みえ市町対抗駅伝	4/16県民の日★		こどもの日イベント	
												中部国際空港での三重県PR